

2007年度 決算説明会

富士フイルムホールディングス株式会社
2008年4月28日



本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

2007年度 連結業績

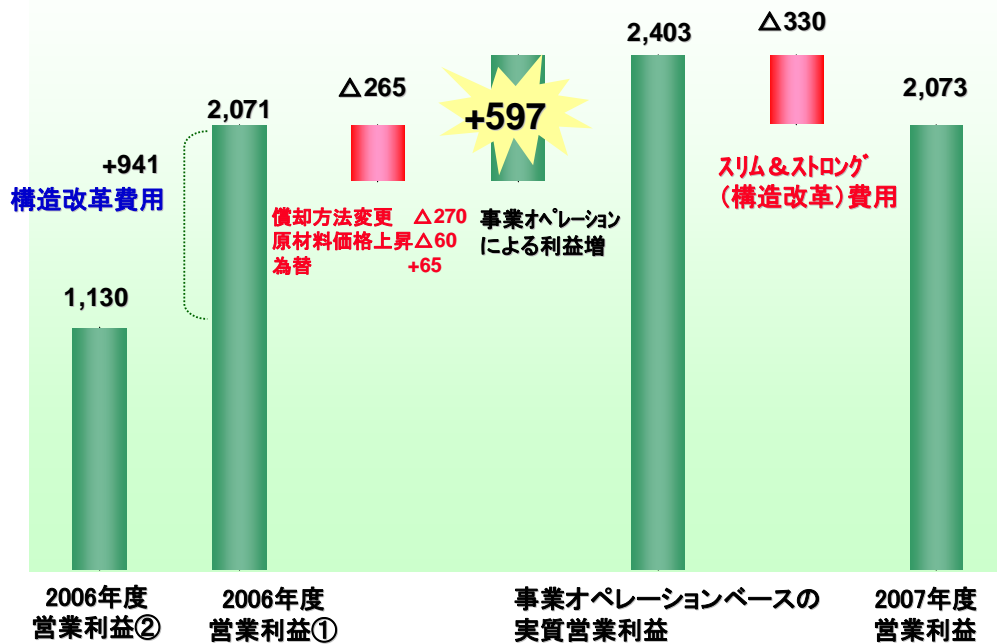
主要製品の販売数量増により売上・営業利益とも過去最高を更新

(単位:億円)

	2007年度		2006年度		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
売上高	100.0%	28,468	100.0%	27,825	+643	+2.3
営業利益①	7.3%	2,073	7.4%	2,071	+2	+0.1
構造改革費用		-		941	-941	-
営業利益②	7.3%	2,073	4.1%	1,130	+943	+83.4
税引前利益	7.0%	1,993	3.7%	1,032	+961	+93.0
当期純利益	3.7%	1,044	1.2%	344	+700	+203.2
1株当たり当期純利益		205.43円		67.46円		+137.97円
為替:米ドル		115円		117円		-2円
ユーロ		162円		149円		+13円

償却方法の見直しやスリム&ストロング活動（構造改革）の追加コストをオペレーションによる利益増によりオフセット

（単位：億円）



事業別セグメント情報

■ イメージング ソリューション

売上高*・営業利益

■ 売上高
■ 営業利益（構造改革費用抜き）
■ 営業利益

単位：億円
[]：営業利益率
()：前年比

売上高

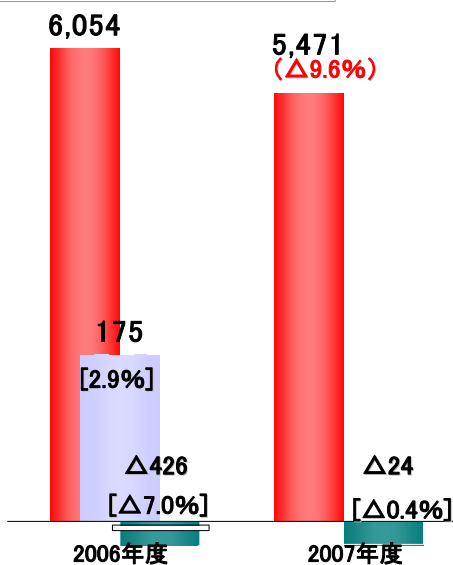
5,471億円（前年比 9.6%減）

- カラーフィルムの市場縮小、フォトフィニッシング機器の販売後退が続き、減収。

営業利益

△24億円（前年比 赤字幅 大幅縮小）

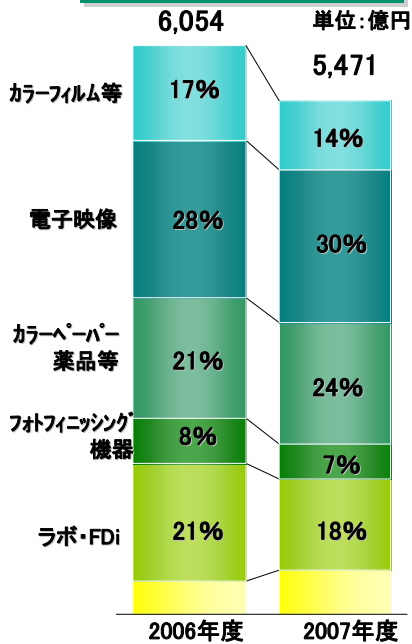
- 銀価格の更なる高騰、減価償却制度変更の影響を受けたものの、円安及び構造改革によるコスト改善効果により赤字幅が大幅縮小。



*セグメント間取引消去後

【事業別ハイライト】

売上構成比



カラーフィルム等

前年比: 27%減

- 市場縮小により売上は減少。当社市場シェアは上昇。

電子映像

前年比: 3%減

- 2007年度のデジタルカメラ販売数量は、800万台超と伸長。
- 進化した顔検出機能のFinePix「F50fd」やスタイリッシュなZシリーズが、ワールドワイドで好評。
- 事業基盤強化に向けた構造改革は、計画通り実施完了。

カラーペーパー・薬品等

前年比: 1%増

- お店プリントの増加とシェアアップにより売上増加。
- フォトブックサービスなど新たなプリントサービスを強化。

フォトフィニッシング機器

前年比: 22%減

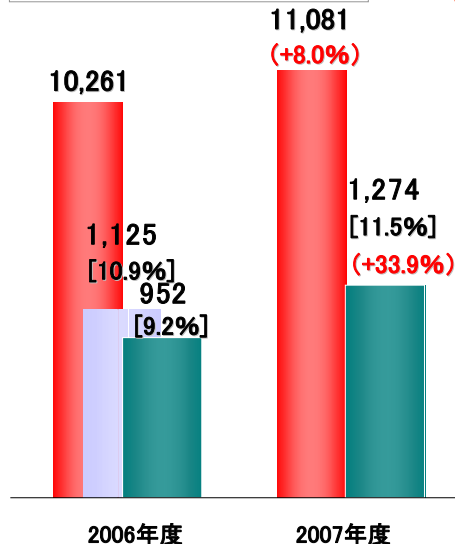
- 大手取引先への導入が一巡したことによる販売減少が継続。

■ インフォメーション ソリューション

売上高*・営業利益

- 売上高
- 営業利益(構造改革費用抜き)
- 営業利益

単位:億円
[]: 営業利益率
(): 前年比



売上高

11,081億円(前年比 8.0%増)

- メディカル機器、フラットパネルディスプレイ材料、刷版材料、カメラ付き携帯電話用レンズユニットの売上増などにより増収。

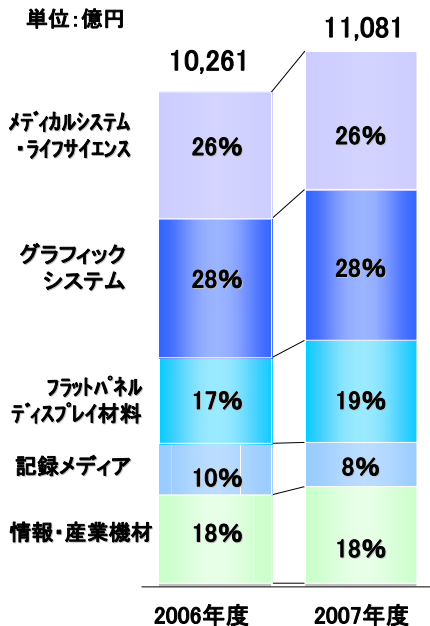
営業利益

1,274億円(前年比 33.9%増)
(構造改革費用を除く前年比 13.3%増)

- 原材料価格の高騰、減価償却制度変更の影響を受けたものの、上記主要製品の販売増が増益に貢献。

【事業別ハイライト】

売上構成比



医療システム・ライフサイエンス

前年比: 9%増

- FCR機器/材料、医用画像情報ネットワークシステムの売上増。
- 2008年3月、富山化学工業㈱を子会社化し「治療」領域へ事業拡大。

グラフィックシステム

前年比: 7%増

- 新興国での需要拡大、CTP化進展により、刷版材料の販売が伸長。
- 生産能力増強のため、オランダに新CTP生産ラインの建設を決定。(2010年1月稼働予定)

フラットパネルディスプレイ材料

前年比: 19%増

- WVフィルム始め、VA、IPSモード向け高性能フィルムの販売が引き続き増加。
- 富士フイルム九州㈱の新生産ライン(07年8月、08年1月)稼働に続き、神奈川工場にて超広幅フジタック生産工場が稼働開始。(08年4月)

記録メディア

前年比: 11%減

- ミッドレンジ系の「LTO Ultrium」及びエンタープライズ系データメディアは順調に販売数量を伸ばすものの、厳しい価格競争等により、売上は低調に推移。

情報・産業機材

前年比: 9%増

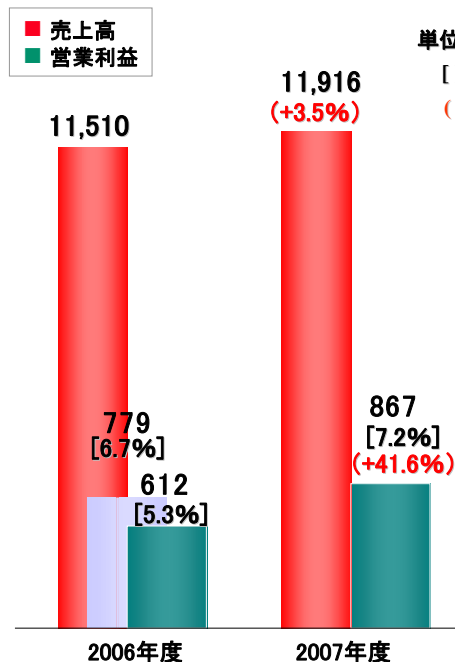
- 光学デバイス分野でカメラ付き携帯電話用レンズユニットの売上が大幅に拡大。
- 産業用インクジェットプリンター用ヘッド売上が増加。

LTO Ultriumは、IBM社、Hewlett-Packard社、Quantum社の米国及びその他の国における登録商標です。6

事業別セグメント情報

■ ドキュメント ソリューション

売上高*・営業利益



売上高

11,916億円(前年比 3.5%増)

- カラーデジタル複合機やオンデマンド・パブリッシングシステムのアジア・中国地域での販売及び欧米向け輸出が好調に推移し増収。

営業利益

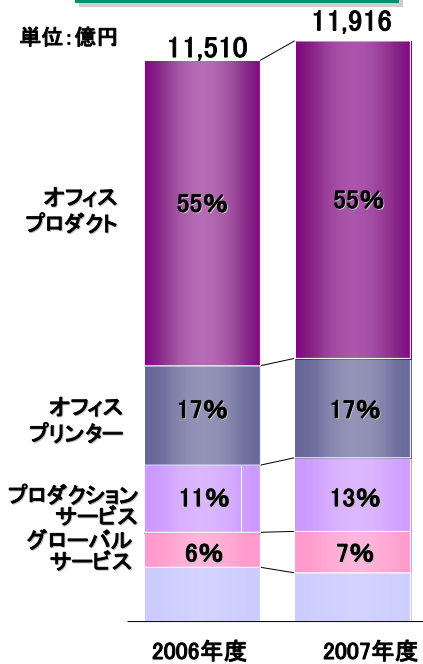
867億円(前年比 41.6%増)
(構造改革費用を除く前年比 11.3%増)

- 成長領域であるアジア・中国における販売増とオフィスプロダクト事業等の売上増加及び調達コストの低減、生産性改善により増益。

*セグメント間取引消去後

【事業別ハイライト】

売上構成比



オフィスプロダクト 前年比: 4%増

- 新開発LEDプリントヘッド搭載のフルカラーデジタル複合機(2007年11月末発売)の販売が好調に推移するも、モノクロ機中心に市場全体の需要が減少し、国内販売は横這い。
- 欧米向け輸出、アジア・中国地域とも、カラー機の販売が大幅に増加。

オフィスプリンター 前年比: 横這い

- 国内自社ブランド商品は、「DocuPrint C3050」を中心に、新商品「DocuPrint C2250」を加え、カラー販売台数が増加。
- OEM販売は、供給先の販売低調で売上が減少。
- 欧米向け輸出、アジア・中国地域とも、カラー機・モノクロ機の販売台数が増加。

生産サービス 前年比: 7%増

- 国内ではデジタル印刷市場向けのカラー・オンデマンド・パブリッシングシステムの販売台数が増加。
- アジア・中国地域、欧米向け輸出とともに、パブリッシングシステムの販売台数が増加。

グローバルサービス 前年比: 21%増

- ドキュメントアウトソーシングビジネスが国内外ともに引き続き伸長
- 内部統制アドバイザリセンターを開設し、内部統制対応を強化

参考データ

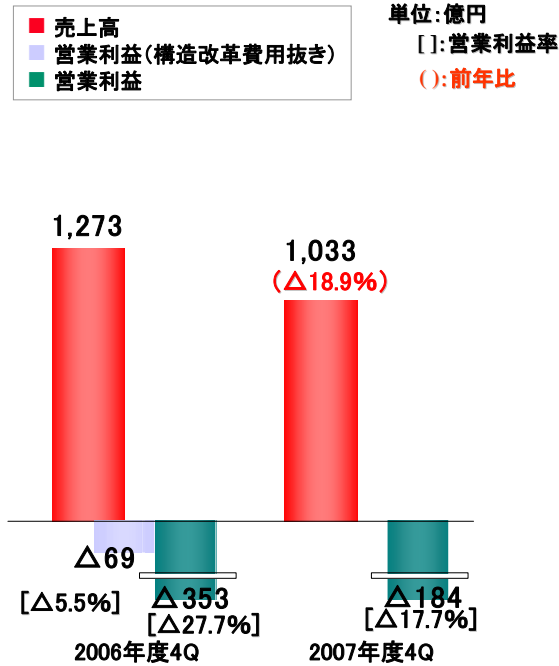
2007年度第4四半期(3ヶ月)連結業績

(単位: 億円)

	2007年度 第4四半期		2006年度 第4四半期		増減	
	割合	金額	割合	金額	金額	%
売上高	100.0%	7,095	100.0%	7,140	-45	-0.6
営業利益①	4.1%	294	5.8%	411	-117	-28.6
構造改革費用	-	-	-	495	-495	-
営業利益②	4.1%	294	-1.2%	-84	+378	-
税引前利益	2.0%	139	-1.3%	-90	+229	-
当期純利益	0.1%	6	-2.0%	-140	+146	-
1株当たり当期純利益		1.11円		-27.35円		+28.46円
為替: 米ドル		106円		119円		-13円
ユーロ		159円		156円		+3円

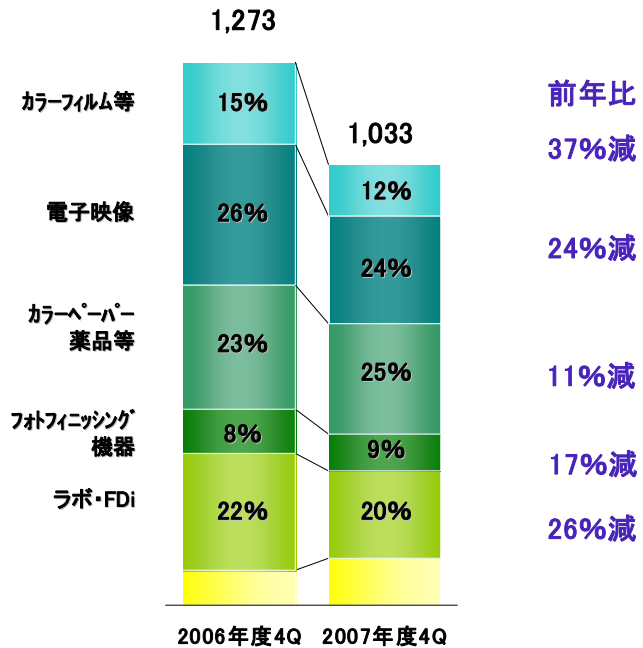
イメージングソリューション(第4四半期)

売上高*・営業利益



売上構成比

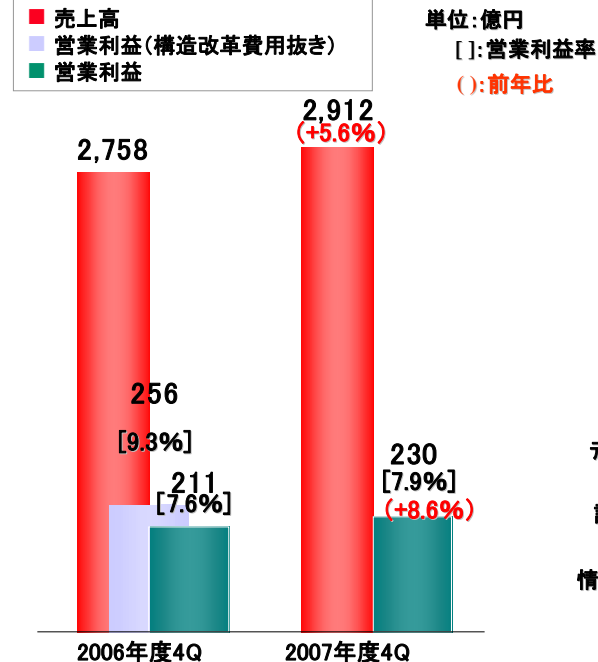
(単位:億円)



*セグメント間取引消去後

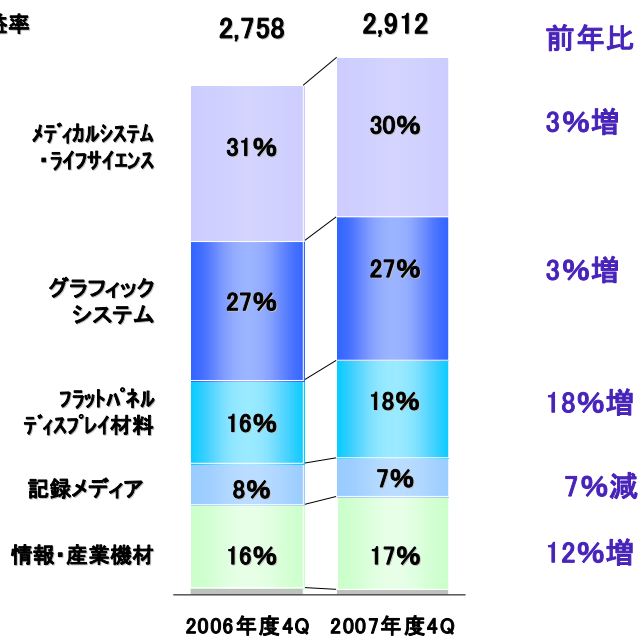
インフォメーションソリューション(第4四半期)

売上高*・営業利益



売上構成比

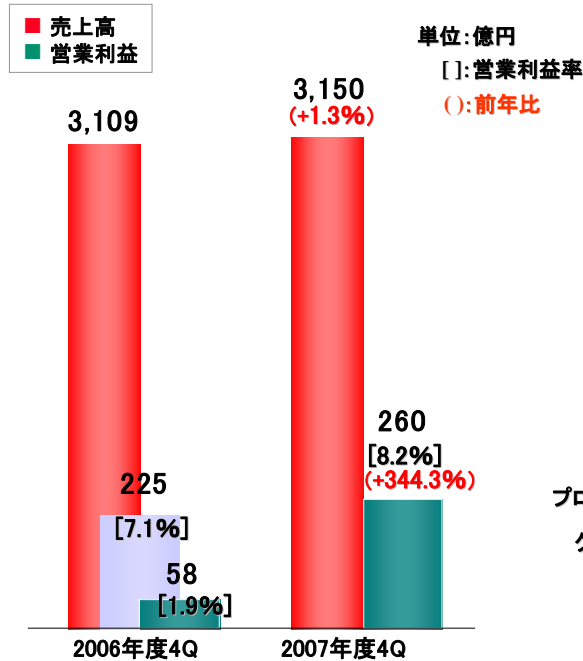
(単位:億円)



*セグメント間取引消去後

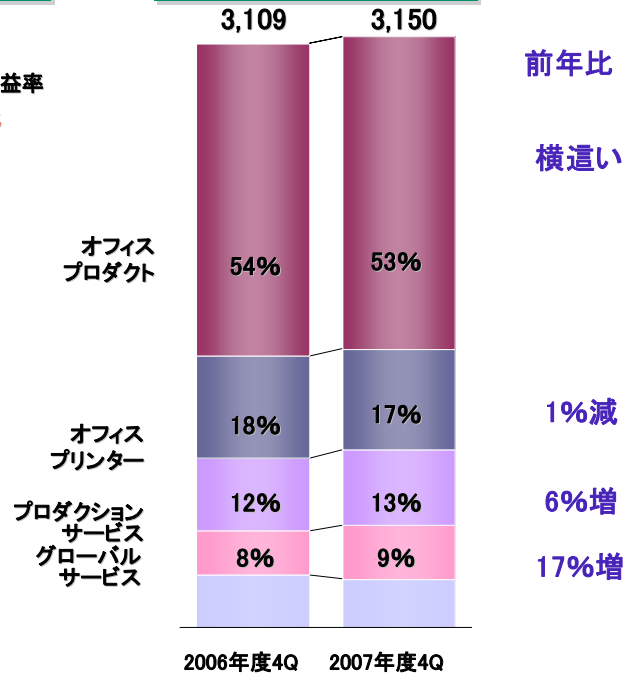
ドキュメントソリューション(第4四半期)

売上高*・営業利益



売上構成比

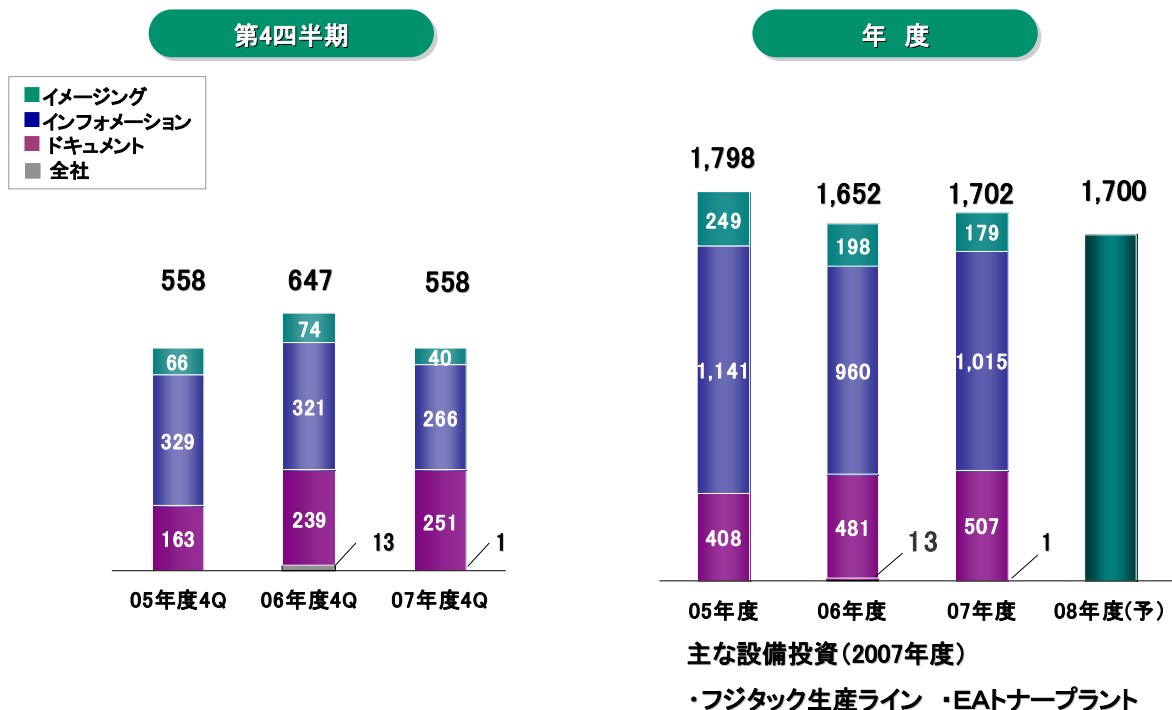
(単位: 億円)



*セグメント間取引消去後

有形固定資産の設備投資額*

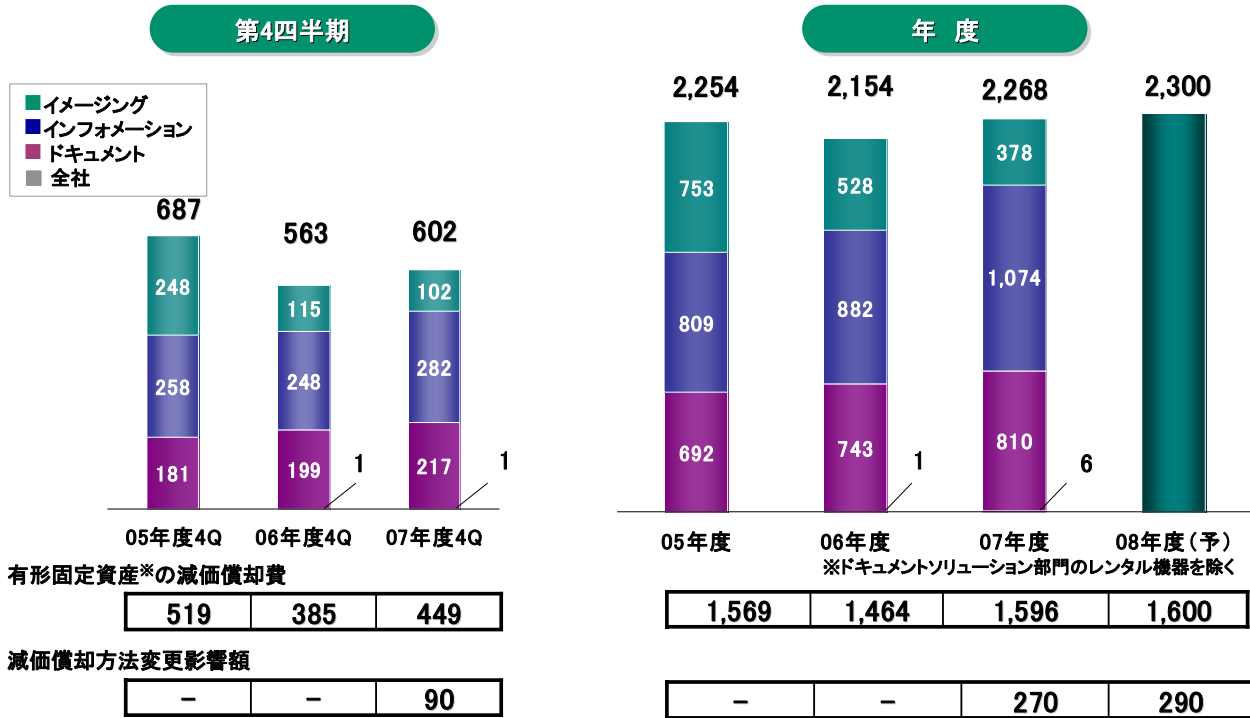
(単位: 億円)



※ドキュメントソリューション部門のレンタル機器を除く。

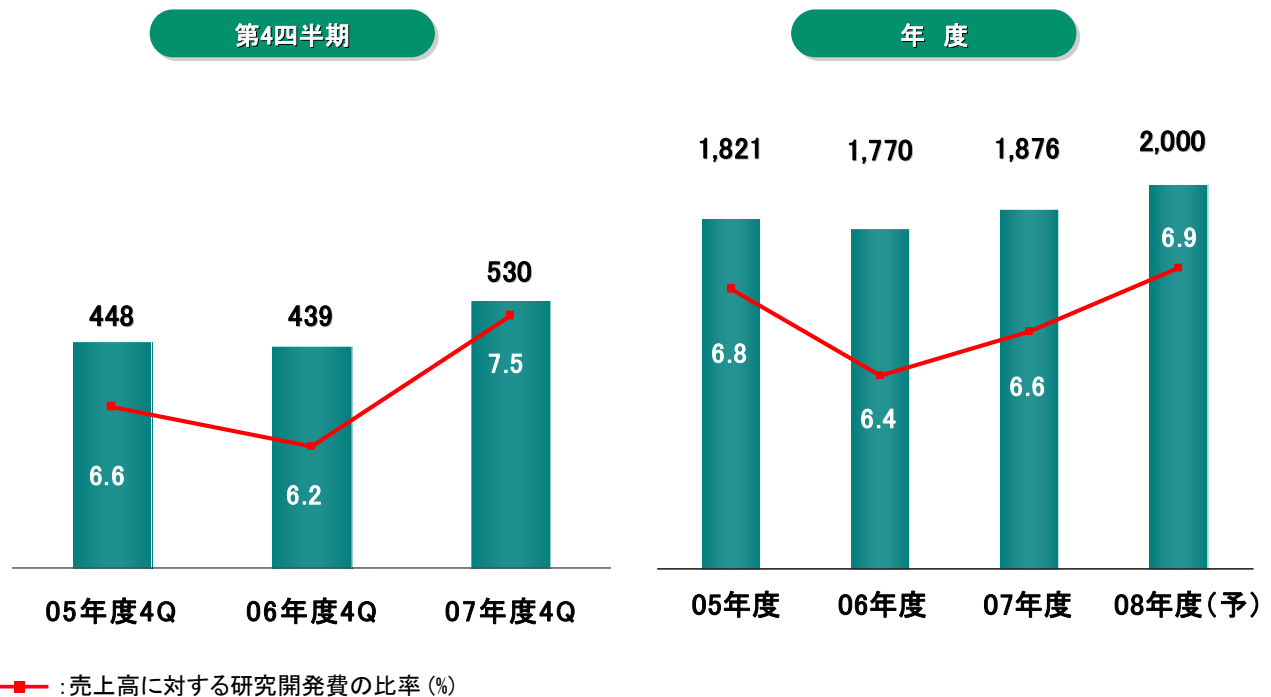
■ 減価償却費

(単位:億円)



■ 研究開発費

(単位:億円)

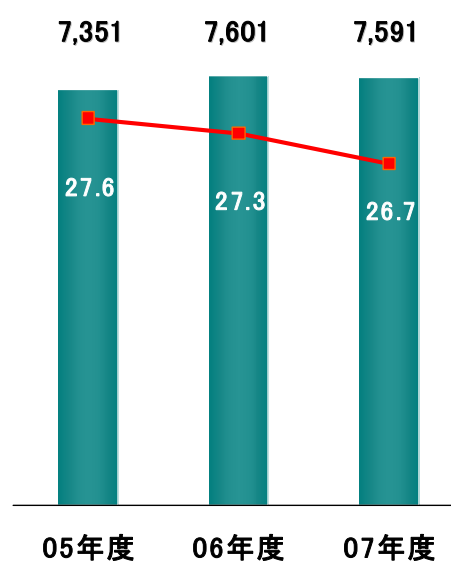
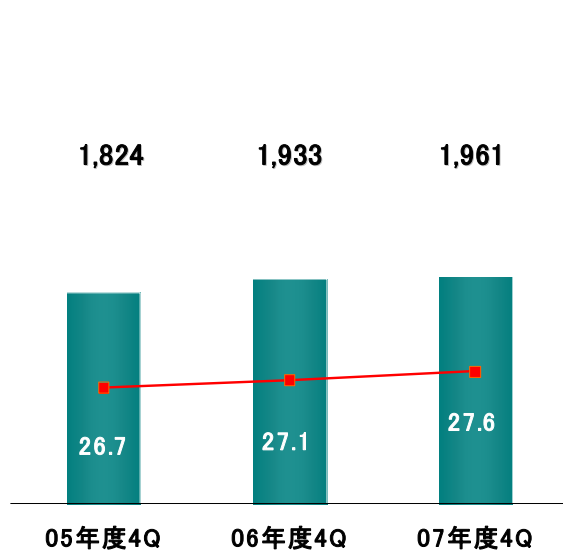


■ 販売費及び一般管理費

(単位:億円)

第4四半期

年度

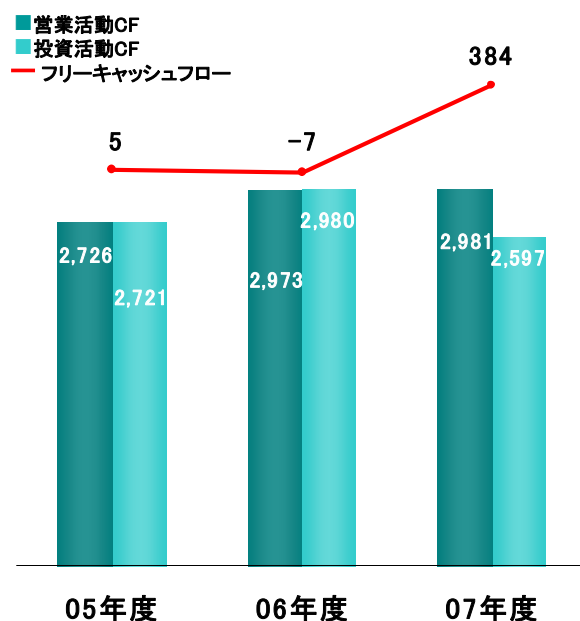
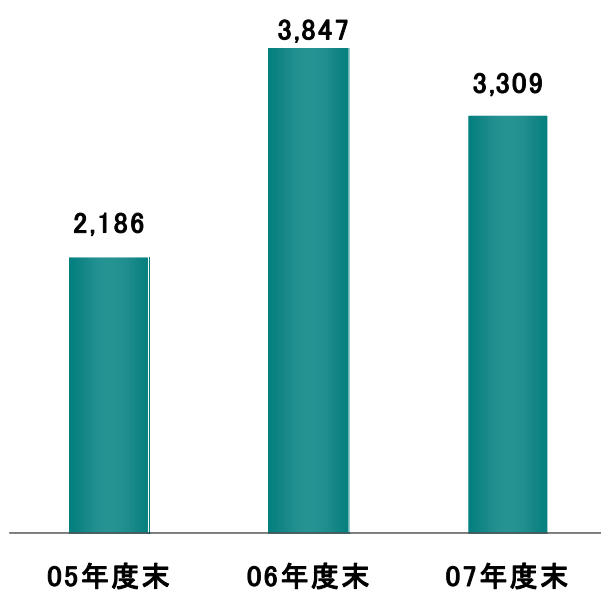


—■— :売上高に対する販売費及び一般管理費の比率 (%)

■ 現金及び現金同等物

■ フリーキャッシュフロー

(単位:億円)



■ 有利子負債 (単位:億円)

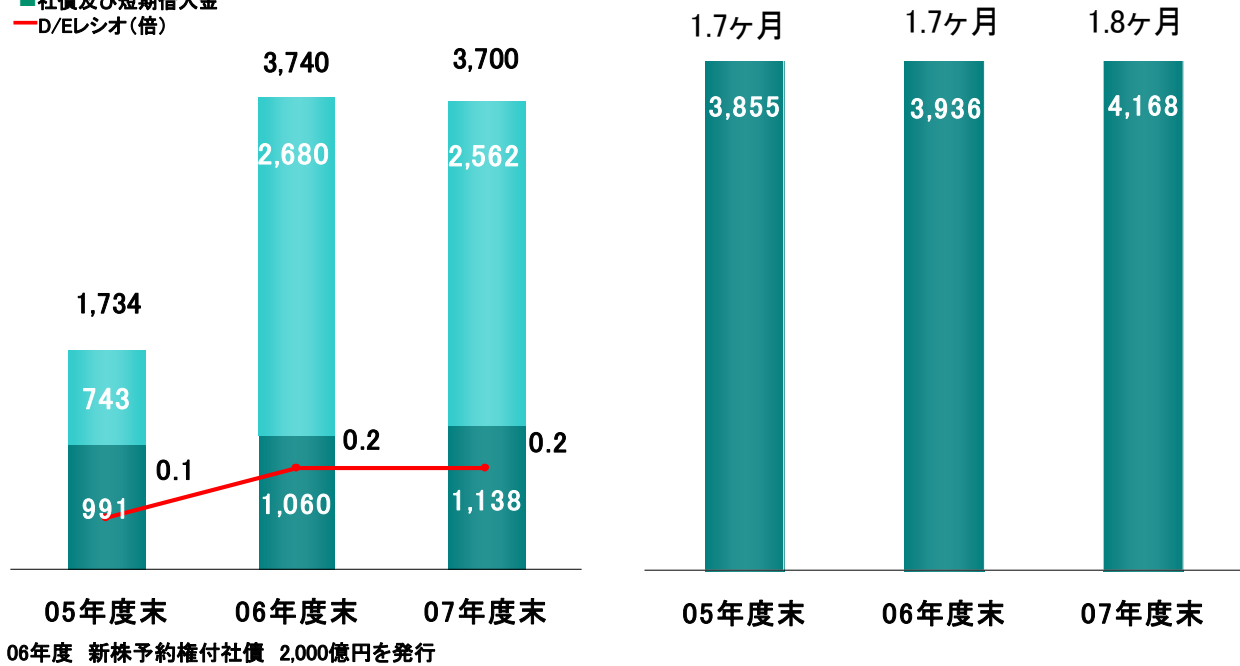
(単位:億円)

■ 棚卸資産 (保有月数)

(単位:億円)

(保有月数)

■ 社債及び長期借入金
■ 社債及び短期借入金
— D/Eレシオ(倍)



■ 為替、人員、株主構成

● 為替

(単位:円)

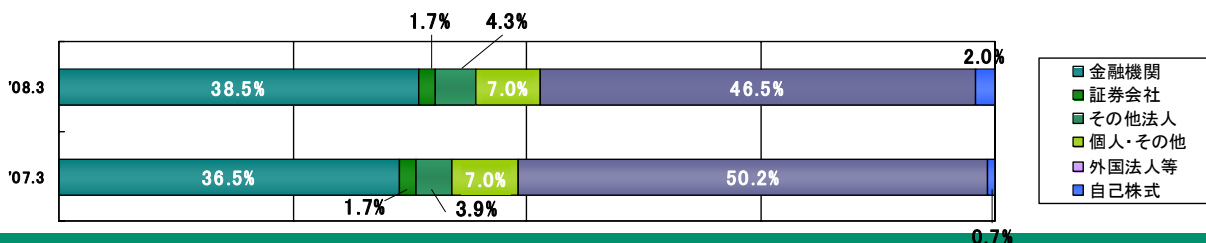
	2008年度 (予)	2007年度				2006年度					
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
米ドル	100	121	118	113	106	115	115	116	118	119	117
ユーロ	155	162	162	164	159	162	143	147	151	156	149

● 人員

(単位:名)

	2008.3末	2007.12末	2007.9末	2007.6末	2007.3末
連結	78,321	78,008	77,555	78,161	76,358

● 株主構成



FUJIFILM

わたしたちは、先進・独自の技術をもって、
最高品質の商品やサービスを提供する事により、
社会の文化・科学・技術・産業の発展、
健康増進、環境保持に貢献し、
人々のクオリティ オブ ライフのさらなる向上に寄与します。

富士フイルム ホールディングス株式会社

経営企画部 IR室

<http://www.fujifilmholdings.com>